

X 各教科・科目の学習内容

【1】国語 の学習について

1 必修科目・自由選択科目について

必修科目は「国語総合」です。

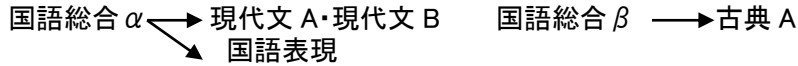
「国語表現」「読み書き演習」「現代文A」「現代文B」「古典A」は自由選択科目です。

2 履修上の注意点

(1) 「国語総合(4単位)」は、本校では「国語総合α」「国語総合β」(各2単位)に分けて履修します。

(2) 3年間で卒業を計画する場合には、「α」「β」の両方を1年次で履修するようにしてください。

3 国語の各科目の履修順序



4 履修モデル (○必修 ●選択必修 ・自由選択)

【3年間で卒業を目指す場合】

1年次	2年次以降	
○国語総合 α ○国語総合 β	・国語表現 ・読み書き演習	
	・現代文B ・古典A	・現代文A

【4年間で卒業を目指す場合】

1年次	2年次以降		
○国語総合 α	○国語総合 β	・国語表現 ・読み書き演習	
		・現代文B ・古典A	・現代文A

※「現代文B」のみ4単位、それ以外の科目は2単位

5 国語の教科目標、履修について

(1)教科目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力や伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力や心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を身につける。

(2)評価の観点及びその趣旨、方法

ア 観点及び趣旨

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

イ 評価の方法

観点	項目	達成評価	活動評価
関心・意欲・態度		考查	出席 教師の観察 自己評価
話す・聞く能力		考查	発表の様子や聞く様子等 感想文
書く能力		考查	感想、課題・ノート等提出物
読む能力		考查	感想、課題・ノート等提出物
知識・理解		考查	小テスト

(3)実技・実習等

特になし。

(4)留意事項

推薦する辞典等は授業中に紹介しますが、基本的に図書室のものを使います。

教科 国 語

科 目 名		国語総合 α	単位数	2	履修区分	必履修科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書	高等学校 改訂版 標準国語総合（第一）		
			使用教材	国語辞典 漢和辞典		
履修の条件		「国語総合 β 」を必ず履修すること。	教材費等			
特 色	① 中学校までに学んだ語句や漢字の復習を取り入れつつ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について、基礎となる能力の定着を図ります。 ② 高校生としてふさわしい国語力を段階的に養成します。 ③ 近代以降の文章を読解し、場や目的に応じて表現する力を養います。					
主 な 学 習 内 容	① 近代以降の作品の読解 ② 漢字・語彙 ③ 効果的な話し合いの方法 ④ 国語辞典・漢和辞典の活用法 ⑤ 原稿用紙の使い方・基本的な手紙の書き方					
備 考						

科 目 名		国語総合β	単位数	2	履修区分	必修科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書	高等学校 改訂版 標準国語総合（第一）		
			使用教材	古語辞典		
履修の条件		「国語総合α」を必ず履修すること。	教材費等			
特 色	① 基礎的な単語や文法を学習し、古典を「読むこと」の基礎となる能力の定着を図ります。 ② 高校生としてふさわしい国語力を段階的に育成します。 ③ 作品の読解を通して、古典の世界に親しむ態度を育て、伝統と文化に対する理解を深めます。					
主 な 学 習 内 容	① 古典の作品の読解 ② 基本的な古語と文語文法 ③ 漢文の読み方の基礎 ④ 古語辞典の活用法					
備 考	3年間での卒業を目指す生徒は、1年次で受講すること。					

教科 国 語

科 目 名		国語表現	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書	国語表現 改訂版 (大修館)		
			使用教材	国語辞典 漢和辞典		
履修の条件		「国語総合α」を先に履修していること。	教材費等			
特 色	① 語句や漢字の学習を取り入れつつ、生活の中にある様々な表現を学び、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の力を育成します。 ② 自分の考えをまとめ、意見を伝え合うことで、言語感覚を磨き、思考力・表現力を身に付けます。 ③ 目的や場に応じた適切な表現を学び、社会人として必要な表現力を身に付けます。					
主 な 学 習 内 容	① 効果的な話し合いの方法・討論の技術 ② 場に応じた言葉遣い・文体 ③ 表現技術の分析 ④ 作文・レポートの書き方 ⑤ 漢字・語彙 ⑥ 国語辞典・漢和辞典の活用法					
備 考						

科 目 名		現代文 A	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書		現代文 A（大修館）	
			使用教材		国語辞典 漢和辞典	
履修の条件		「国語総合α」を先に履修していること。	教材費等			
特 色	① 近代以降の文章に幅広く接し、「読むこと」の力を中心に国語力の向上を図ります。 ② 様々な表現に触れることで、言語文化についての理解を深め、文章を読む楽しさを味わう態度を育成します。					
主 な 学 習 内 容	① 近代以降の作品の読解 ② 文章の作成 ③ 漢字・語彙 ④ 国語辞典・漢和辞典の活用法 ⑤ 効果的な話し方・聞き方 ⑥ 作文・レポートの書き方					
備 考						

教科 国 語

科 目 名		現代文 B	単位数	4	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B（第一）		
			使用教材	国語辞典 漢和辞典		
履修の条件		「国語総合α」を先に履修 していること。	教材費等			
特 色	① 近代以降の文章に幅広く接し、「読むこと」の力を中心として「話すこと・聞くこと」「書くこと」の力を育成します。 ② 様々な表現に触れ、的確に内容を読み取ることで、思考力・表現力を高め、人生を豊かにする態度を育てます。					
主 な 学 習 内 容	① 近代以降の作品の読解 ② 文章の作成・表現 ③ 漢字・語彙 ④ 国語辞典・漢和辞典の活用法 ⑤ 効果的な話し方・聞き方 ⑥ 作文・レポートの書き方					
備 考						

科 目 名		古典 A	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書	高等学校 改訂版標準古典 物語選（第一）		
			使用教材	古語辞典		
履修の条件		「国語総合β」を先に履修 していること。	教材費等			
特 色	① 日本古典文学の代表的な作品について、「読むこと」に重点をおき学習していきます。 ② 古文と漢文を読むことを通して、伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむ態度を育 成します。					
主 な 学 習 内 容	① 古典作品の読解 ② 古語と古典文法 ③ 漢文の読み方の基礎 ④ 古語辞典の活用法					
備 考						

教科 国 語

科 目 名		読み書き演習	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部		午前 午後 夜間	使用教科書		しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング (いっずな書店) (予定)	
			使用教材			
履修の条件		特になし	教材費等		テキスト代等	
特 色	漢字の読み、書き取り、熟語等の学習を通して漢字を正しく使えるようにし、語彙を豊かにします。					
主 な 学 習 内 容	① 漢字の読み・書き取り ② 部首 ③ 送り仮名 ④ 対義語・類義語 ⑤ 同音・同訓異字 ⑥ 誤字訂正 ⑦ 熟語の構成					
備 考						